## 一般質問の質問者順番と質問事項

(令和2年 第2回定例会)

	(市相2中 第2回足例云) 		
質問順位	3 5番議員 末次明		
質問事項1	令和2年度基山町教育プラン及び教育委員会の新型コロナウイルス感 染症の取り組みについて		
質問の要旨	柴田教育長は昨年10月1日より基山町の教育長に就任されたが、基山町の教育委員会を取り巻く環境は「小学校校区児童数格差」、「特別の支援を必要とする児童生徒の増加」、「新型コロナウイルス感染症」等、課題が山積し、苦心されている。柴田教育長の知識と経験によるリーダーシップに期待している。子ども最優先で各課題の解決に向けた取組について問う。		
具体的な質問及び質問の相手	(1) 令和2年度の基山町教育プランの策定について ア 昨年5月に基山町教育大綱(第2期)が改定されている。ここ数年の7つの施策については大きな変化はないが、町の教育方針をどう捉えているかイ教育大綱の基本目標1は「生きる力を育む学校教育の充実」とあるが、基山町の子どもたちが多様で急速に変化する社会環境に、いかに対応し乗り越えていく力を習得するかにあると考えている。教育長の考えを示せウ教育プランでは「地域全体で子供の成長・学びを支える」とある。課題として小学校校区の児童数格差と1、2、4、6区の山間地域及び、けやき台など成熟した住宅開発地域の子どもの減少問題がある。伝統行事や区対抗行事の運営が難しくなっている。少ない地域なりの対策を教育委員会としては考えているのかエ 各学校長、教職員など学校側の声を町へ積極的に教育長から伝えて欲しい。教育委員会は事後(事故等)対応型から事前(予測)対策型になるべきと思うが、考えを示せ (2) 新型コロナウイルス感染症の対応について 教育長		
	ア 基山町教育委員会の休校、授業環境、学校行事などの決定の判断基準は何をもとにしているのかイ 教育プランの施策2に「豊かな学びを支える教育環境の充実」とあるが私立と公立の違いや自治体ごとの教育環境に大きな違いがあってはいけない。今回の新型コロナウイルス感染症対応では日本国内でも、大きな格差が生まれようとしている。教育者		

として格差の問題をどう考えているのか ウ 子どもたちに対するマイナスの影響の中で、学力 以外に文化芸術やスポーツの活動が大きく制限さ れた。この分野の再生に町は力を入れていただきた い。オール基山で環境整備(人的、物的支援)でき ることはないか	